Ⅰ-3．茶宇治在来種の収集，野菜茶試，1987年

野菜・茶業試験場　茶栽培部　育種法研究室
鳥屋尾　忠　之
川　田　真佐枝

1．目的

日本の緑茶の多くは京都（宇治）に由来する在来種の血を引いており，育種素材として優れた特性（特に緑茶品質）を持っている。ところが，この古い産地，特に宇治を中心とする在来種の滅失が懸念されているのが現状である。そこで，緊急を要するこれらの材料を収集し保存を図る。

2．経過および調査・収集方法

1986年度にチャ在来種遺伝資源の収集・保存に関するアンケートを茶関係試験研究機関を対象として行いその結果を取りまとめた（1987年１月）。同時に，1986年12月京都茶業研究所の協力を得て現地調査を行い，宇治地方で特に緊急を要する地域・茶園の選定を行った（図１）。その結果に基いて，15ヶ所の在来茶園を対象とし，1987年10月にそれぞれの茶園から収集個体を選抜し，樹型と葉の大小，葉色等６形質の調査を行った後に挿穂を収集した。採集した穂木は直ちに野菜茶試（金谷）に送り挿木養成し，さらに採集材料の中の優良個体を選んで，種苗管理センター奈良農場で挿木養成した。

3．収集成果

調査と収集成果は表２のとおりで，今回収集した材料は対象茶園の間にも，また同一茶園内にも個体変異は大きいものがあり，特に大型のタイプが含まれていることが明らかにされ，今後の特性調査を経て育種利用が期待される。

収集材料は，13茶園559個体で，それぞれ個体ごとに採穂し，挿木養成中である。なお，調査によって優良と認められた203個体は重複して種苗管理センター奈良農場で挿木養成中である。

4．収集材料の今後の受渡し計画

挿木養成した材料は，在来種保存園を野菜茶試（金谷）に設置する。また，種苗管理センター奈良農場で挿木養成した材料についても特性を経て，ジーンバンク事業に沿って，保存を図り今後の育種利用に役立てる。

5．所感

日本の在来茶園は生産地を中心に急速に減少している。1970年には全国の茶園面積51,600 haのうち36,000 haあった在来種は，優良品種に急速に置換わり1986年には16,000 haとなった。中でも主産地における在来種は滅失が近い。幸い今回の国内遺伝資源探索収集計画によって緊急を要する宇治地方の材料の収集を行うことができた。今後，その他の地域でも積極的な保存を図らねば滅失のおそ

れの生ずる場合が起り得る。その場合に現地でそのまま保存できるならばベストである。それのできない場合には府県の試験研究期間の中に保存園を設置すること等を検討する必要がある。

6．調査・収集日程ならびに協力機関（表１）

表１・調査・収集日程ならびに協力機関

年　月　日	行 動 内 容	協 力 機 関（担 当 者）
61.12.8-9	宇治を中心とした地域の調査茶園の選定	野菜茶試；鳥屋尾忠之，京都茶研；植田和郎
62.10.6-8	調査と採穂株の選定，採穂	野菜茶試；鳥屋尾忠之 種苗管理センター奈良農場；川原嗣暢，鞍岡利昭，荻須広明 京都茶研；吉田輝久，鳥井清孝，藤井孝夫，植田和郎，原田和也，澤崎肇
10.7-9	挿木　野菜茶試（金谷）	野菜茶試；簗瀬好充，川田真佐枝
〃	〃　種苗管理センター奈良農場	種苗管理センター奈良農場；副島守，川原嗣暢，鞍岡利昭，荻須広明

表2　収集材料現地記録表（京都，茶，1987）

収集番号	作物名	属　種　名	在来種名	採集月日	収集	
					所有者	所在地
1	茶	*Camellia sinensis*	宇治在来種	62.10.7	垣内由造	宇治田原町,南東所
2	〃	〃	〃	〃	村上隆雄	〃　,荒木東出
3	〃	〃	〃	10.6	堀井信夫	宇治市,宇治,好楽 85
4	〃	〃	〃	10.7	青山一雄	〃　,宇治,善法 29
5	〃	〃	〃	10.8	辻　四郎	〃　,小倉,久保 36
6	〃	〃	〃	10.6	林屋新一郎	〃　,小幡,中村 37
8	〃	〃	〃	10.7	中村利夫	〃　,六地蔵,紺屋 1
9	〃	〃	〃	10.8	竹本孝夫	〃　,六地蔵,町並 25
10	〃	〃	〃	10.6	高井武雄	八幡市,上津屋,浜垣内 24
12	〃	〃	〃	〃	金森博和	〃　,上津屋,里垣内 93
13	〃	〃	〃	〃	巽　元弘	〃　,岩田高木 72-73
14	〃	〃	〃	〃	佐藤泰司	〃　,上津屋,浜垣内 14
15	〃	〃	〃	〃	石田光則	〃　,上津屋,里垣内 109

‡（　）は種苗管理センター奈良農場で重複して挿木養成中の優良個体

茶園 特徴	個体変異						個体数 (奈良)‡
	葉の大きさ			葉の色			
	大	中	小	濃緑	緑	淡緑	
丸葉・柳葉等変異に富む,「寺の前」	12	27	11	22	20	8	50 (9)
台切り後3年,「ね田」	11	42	21	29	28	17	74 (23)
丸葉系統, 7名園「奥の山」の一部	3	22	5	7	18	5	30 (12)
柳葉系統, 善法	17	9	4	18	9	3	30 (7)
槇島	11	24	5	14	21	5	40 (19)
変異に富む, 五カ庄, 芝東	25	29	24	20	32	26	78 (31)
〃 , 赤塚, 樹齢80-100年	50	49	22	36	39	46	121 (37)
〃 , 数カ所に分散, 80-100年	52	40	12	29	50	25	104 (36)
木津川左岸, 樹勢良否の変異大	3	2	7	6	3	3	12 (6)
〃 , 変異大	5	4	4	4	3	6	13 (6)
〃 , 樹型小	2	0	4	0	3	3	6 (2)
〃 , 変異大	3	1	6	3	2	5	10 (5)
〃 , 〃	14	11	6	12	12	7	31 (10)

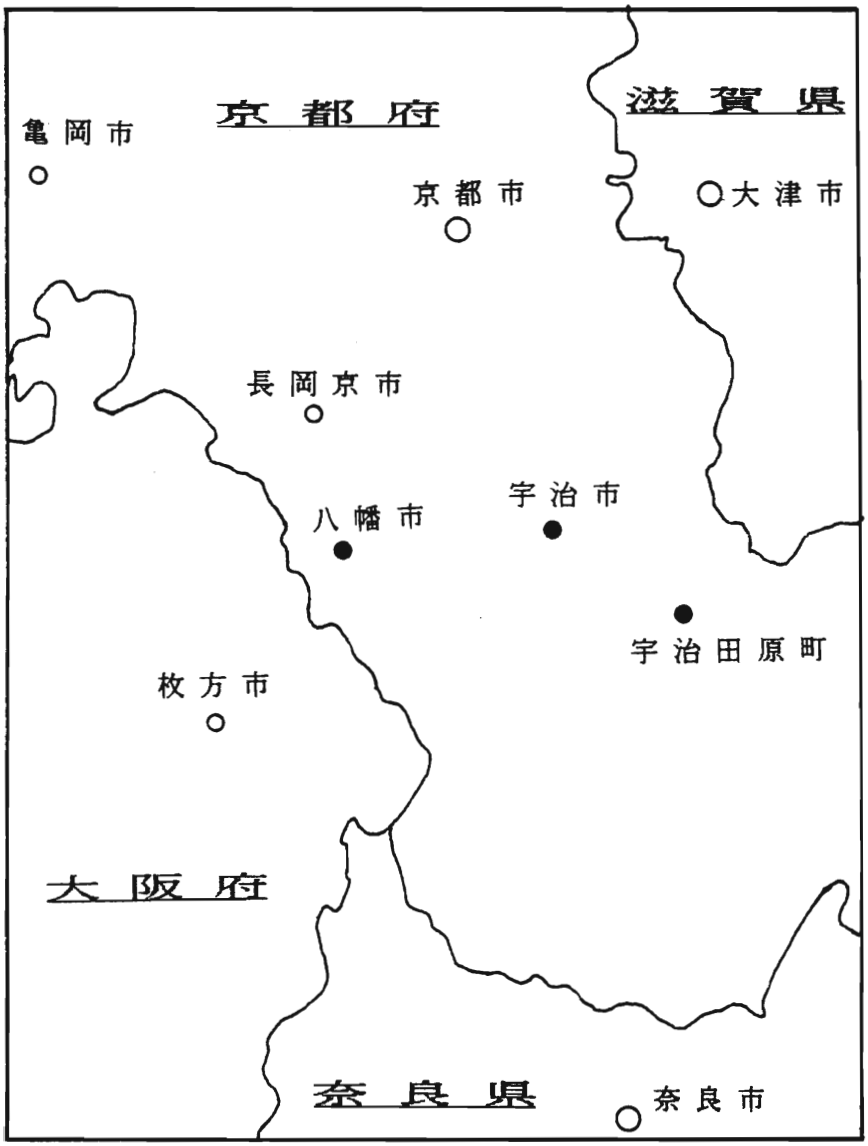

図1．収集探索行動図